

# 盛大なる神事の無事を願って…



北村卓也さん

諏訪大社大総代会 議長  
下社二地区連絡協議会 会長

## 下社の大総代に聞く

下社では御用材の仮見立てを開催3年前に行い、2年前に本見立てという段取りですが、やはりコロナ禍のなか、今回は本見立てを中止。大総代の北村卓也さんは「仮見立てをもって、本見立てと見なすことになりました。それから伐採をして、その木の皮を剥いて約1年間寝かします」。このため、下社の御柱は、開催年に伐採する上社と異なり、水分が蒸発した木材となります。

下社の御柱は上社の「めでこ」がなく、丸太であることが特徴です。木落し坂を下る様子はまさに豪快そのもの。

また下社の曳行ルートは道幅がやや狭く、予定通りの時間進行に支障をきたすことがあります。一方通行にしたり、迂回路を通してもらったり、人の動きが滑らかになるよう工夫しています。いちばんは警察、消防、行政、そして我々氏子たちとの連携や協力です」。

今回取材した大総代お二人から、御柱祭を無事に成功させたいという熱い思いを感じました。御柱祭は安全を願う地元の子カラと心意気あつてこそのお祭りです。  
(令和2年10月取材)

## 御柱の里は再訪したい観光地

そぞろ歩くと小さなお宮で御柱

諏訪大社の御柱祭が催される寅と申の年、その夏から秋にかけて諏訪各地の神社「小宮」でもそれぞれの御柱祭が行われます。諏訪大社につながる神社はもとより、八幡社、稲荷社、産土神、道祖神、屋敷神など、大小様々なお宮に4本の御柱が建てられます。

御柱の太さや長さはお宮によって実に多種多彩。山出しや里曳きといった行程をきちんとまもる地域も多く、木遣りや長持ち、傘踊りなど氏子たちが日頃の特訓の成果を披露してくれます。

## 四季を通して見どころたっぷり

諏訪エリア(岡谷市・諏訪市・茅野市・下諏訪町・富士見町・原村)は日本有数の観光資源に恵まれています。春、高鳥城の桜、鶴峯公園のつじ：花見の名所が数多く、また蓼科、白樺湖など高原の森では木々がいつせいに芽吹きます。夏、日本屈指の花火大会である諏訪湖の花火大会、太鼓まつりや星まつり、星空の映画祭：大自然とコラボするイベントが目白押しです。秋、諏訪湖から八ヶ岳までの標高差が大きいため、エリア内の様々な場所で長い期間にわたって紅葉のグラデーションが楽しめます。冬は車山高原や富士見高原などの高原エリアで、多彩なウィンタースポーツを満喫できます。諏訪エリアは季節を問わず美しく、楽しみ不尽きない観光地です。



初島神社の建御柱  
(諏訪湖の初島は花火の打上げ場所としても有名)



車山神社の小宮祭  
(車山の山頂に鎮座する車山神社まで御柱の曳き上げが行われる)



ニッコウキスゲ(ピーナスラインから八ヶ岳方面を望む)

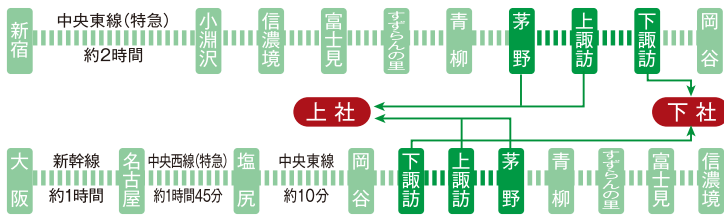


諏訪湖夜景(湖周は岡谷市・下諏訪町・諏訪市)



御射鹿池(絵画のモデルになった奥蓼科の景勝地)

### 電車でのアクセス



### 車でのアクセス

